



ご利用者様による陶芸作品



藤枝市中ノ合26-1
医療法人社団 ^{しまかい}八洲会
誠和藤枝病院
〈054〉638-3111(代)

診療時間
月～金
午前 9:00～午後 5:00
土曜日
午前 9:00～正午12:00

「超高齢化社会に向けて」 —— 二〇二五年問題 ——

誠和藤枝病院院長 浅川建史

戦後の日本経済を支えた団塊の世代は、二〇二五年以降、約二千万人強の『後期高齢者』に組み込まれる。六十五歳以上の『前期高齢者』を含めると、実に三人に一人が高齢者となる。減少する税収入に加えて、増大する社会保障費への対策として、国は予防的対策に力を入れている。かつて流行語にもなった『メタボリックシンドローム』は、高血圧や糖尿病、脂質異常症の前段階であり、その時点で保健衛生学的介入をして、疾病の発症を防ぐ。同様に、昨年度から始まった職場での『ストレスチェック』は、日常生活での様々なストレスを適切に管理する事によって、統合失調症を含めた様々な精神疾患の発症を防ぐ。

疾病の発症そのものを防ぐ事を一次予防と言いますが、疾病を早期発見早期治療する二次予防や、疾病の再発を防ぎ社会復帰を目指す三次予防に比べ、明らかに効率は良く、国や個人に及ぼす恩恵も大きい。

昨年、当葉梨地区で行われた、『二〇二五年

問題にいかにも備えるか』というテーマの社会福祉協議会の懇談会では、基調講演の講師も含めた地域の高齢者の参加者のほとんどが、非介護者になりたくない、認知症になりたくない、との執念にも近い空気が渦巻いた。いかに心身の健康を維持するか、への関心は高い。

しかし健康寿命が延びても、医療・介護が不必要になるわけではない。問題は、先祖代々続く終の棲家であっても、家庭に介護資源が乏しい事だ。「自宅で最期を迎える」ことがむしろかしくなっている。それに代わる特養や老健や、有料老人ホームにしても、健康管理を中心とした最低限の提供となるため、状況によっては退去を命じられたり、医療から見限られる形になる場合もある。病院のベッドも少なくなっており、医者も高齢化で足りなくなっている。「死に場所」がなくなっているのだ。

各地域それぞれの違いはあるが、高齢化社会に向けて、医療の環境も、大きな変化が予想される。当地区の基幹病院である藤枝市立総合病院は、他機関との連携がよく、現在、先進医療から高齢者医療まで全て受け入れてくれる有り難い事情がある。しかし、医療報酬の改定は、急性期一般病院を、急性期医療・先進医療に特化するように導く。その受け皿としての役割を、各種回復期病棟、療養病棟、医師会開業医が担うことになる。そして、各種在宅支援施設と連携する訳だが、個人の環境や、個別の価値観や要望は多種多様となっている。それぞれのニーズに合わせるためには、全体を見据えた上での、個別対応であるが、よほどの柔軟な考え方が必要となるであろう。

望むと望まざるとにかかわらず、いつかは医療や介護が必要になる。

今一度、自分の生きてきた道を思い起こし、身近な人の医療介護、自分自身の医療介護について、冷静に思いを巡らす時間があった方がいいかもしれない。

新しい年を迎えて

誠和藤枝病院 事務長

稲葉正治

皆様明けましておめでとう御座います。旧年中は大変お世話になりました。本年もよろしくお願い申し上げます。

今後高齢者の方々を支える役割を果たすべく、職員一丸となりまして取り組んで参りたいと思います。

平成28年第1号となります。「せいわ」は、お正月にちなんだ話題で新春号を飾りたいと思います。

皆様は、お正月に、おとそを飲みながら美味しいおせちを召し上がる方が多くおられると思いますが重箱に綺麗に詰められた料理には1つ1つに意味があるようです。

- ・数の子・・・子孫繁栄
- ・田作り（別名ごまめ）・・・

豊作の祈願

- ・黒豆・・・無病息災
- ・たたきごぼう（別名開きごぼう）・・・家がその土地に根を張って安泰に

豊作を願って運が開く等々重箱の中には、たくさんの願いが込められているようです。

又、御節供（おせちく）料理がおせち料理と呼ばれるようになったのは第二次世界大戦後のことのように、以前は家庭で作るのが一般的でしたが、デパート等で市販されるようになった時「く」を省略して「おせち料理」として販売したからという話が残っているとの事です。

そして、初詣に行かれると思いますがお賽銭にも意味があるようです。

5円は「ご縁がありますように」45円は「始終ご縁がありますように」10円は「遠縁」を連想させるので避けた

方が良いとの事です。

又、初詣を済ませたあとには、せつかく頂いた「福」が逃げてしまわないように寄り道をしないでまっすぐ帰った方がいらしいです。
(YAHOO JAPAN 検索及び引用)

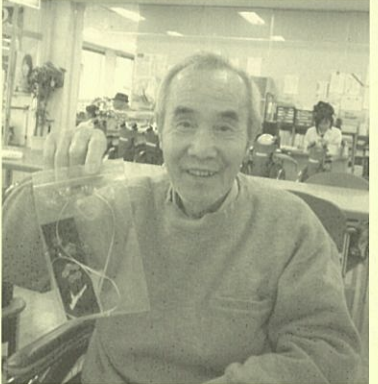
とにもかくにも、本年も皆様にとりまして素敵な1年でありますよう祈願いたしまして新年のご挨拶とさせて頂きます。



通所
陶芸教室



通所
ネームプレート
制作



医療ソーシャルワーカーとは？

誠和藤枝病院相談員 吉川 尚吾

医療ソーシャルワーカーとは、保健医療分野におけるソーシャルワーカーであり、主に病院において「疾病を有する患者等が、地域や家庭において自立した生活を送る事が出来るように、社会福祉の立場から、患者や家族の抱える心理的・社会的な問題解決・調整を援助し、社会復帰の促進を図る」専門職です。「高齢者介護」「障害者支援」「生活保護」など社会福祉分野全てが対象となり多岐にわたります。さまざまな問題を抱える相談者の悩みを聞き、その人に適した公的支援や地域のサービスを結び付け、解決策を提案して行くのが主な業務です。

具体的な仕事内容としては、①入退院の調整②患者が関わる行政をはじめとした関係機関と連絡を取り合い、必要な公的手続きの代行や、公的な支援を患者（家族）に情報提供する事です。

患者が安心して入退院できるよう支援を行っていますが、入退院が決まるまでの間には、細かい調整があり日々時間に追われている様な状況です。特に、患者と家族の方が必要としているニーズを理解して、どのような支援が提供できるかを考えなければなりません。相談の時間も大体一時間から長いと二時間を要します。時間内に解決できれば良いのですが、出来ない時は、再度面談を重ねていきます。時には、家族と思っている事が違ったりして関係性が築けない場面も遭遇します。それでも、相手の立場に立って聞く事に徹しています。「相談者」と「援助者」との関係に終わらず、長い時間をかけ信頼関係を築いていければと思っています。

医療ソーシャルワーカーは、福祉全般の知識が必要になり、看護介護の基礎知識や一般的な医学や心理学も勉強していかなければなりません。まずは、援助者として患者家族から信頼されるような人間として精進し頑張っていきたいと思っています。



職員募集

◎正・准看護師

◎介護職員

詳しいお問い合わせは (054) 638-3111 担当 事務長まで

詳細は当院ホームページにて↓

<http://www.seiwa-fujieda.jp/>

ブログも更新中…!

編集後記

昨年はスケート男子シングルの羽生結弦選手の300点越えラグビーの日本代表、県内ではジュピロ磐田のJ1復帰などスポーツ面で今年期待できる話題がありました。皆さん何か目標はありますか？猿年もまた心新たにいろいろな事にチャレンジしてみましょう！

今回も院内報の編集にご協力いただき、ありがとうございます。